

九州大学経営協議会議事概要

日時：令和5年6月22日（木）13：00～14：20

場所：対面及びwebにより開催

出席者：28名中24名出席

【構成員等の紹介】

経営協議会委員について紹介があった。

【審議事項等】

1 役員等について

令和5年度に新たに就任した役員について、報告があった。

2 九州大学のガバナンス体制について

現在検討中の新たなガバナンス体制について説明があり、意見交換を行った。本日の議論を踏まえ、次回以降の会議において、引き続き検討を行うこととした。

3 第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務の実績に関する評価結果について

第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務の実績に関する評価結果について、報告があった。

4 令和4事業年度の決算について

令和4事業年度の決算について説明があり、審議の結果これを議決した。

なお、以下のような意見があった。

- ・燃料費の高騰については、国からの補正予算では賄えず、研究費教育費等々を削って補填することになる。中長期的な対応については、国をあげて考えるべき課題であり、各々が声を上げて社会の中に世論を形成する必要があると考える。また再生可能エネルギー戦略を促進させる可能性もあるので、そこを含めて九大内で検討しては如何かと考える。

5 令和6年度概算要求について

令和6年度概算要求について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見交換があった。

- ・日本の国力を考えるとIT人材を増やす必要があり、特に九州では大手半導体メーカーの進出により技術者が不足することが予想される。時代の要請に応じて、定員については増減があってよいと思われるが、今回、入学定員を増やさないことにした理由は何か。
→情報系については大学院修士課程の定員を増員する方向で検討している。高度な人材育成を考えると、一学年全体で200名程度の定員規模と考えている。

6 令和4年度資金運用実績について

令和4年度資金運用実績について報告があった。

なお、以下のような意見交換があった。

- ・国際卓越研究大学に認定されると継続的な事業成長が求められるが、現在の運用益以上の水準をどのように目指すのか。
→国際卓越研究大学への認定の有無に関わらず、金融・資金運用の経験者を含めた

持続的かつ強固な資金運用体制を整備し、資金運用の拡大を図りたいと考えている。

7 役員の退職手当に係る業績評価について

令和5年3月末をもって退任した理事の在任期間の退職手当に係る業績評価について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見があった。

- ・役員の業績評価については、経営協議会で評価することは極めて難しい。審議の必要性について、今後検討いただきたい。

- ・次回の経営協議会は令和5年10月24日（火）に開催予定である旨の案内があった。

（ 以 上 ）